

# 中園理沙 ピアノコンサートレポート vol. 4 (箱根編②-2)



最後の曲リストのラ・カンパネラを弾き終わると会場から突然「ブラボー！」という男性の大きな声がかかり、その後は「アンコール、アンコール」という多くの方々の声と拍手が鳴りやみませんでした。それはさながら本格的なコンサート会場のような雰囲気でした。



中園さんはアンコールに応えるために再登場し、「このままで皆様とお別れするわけにはいきませんので、もう1度幻想即興曲を弾かせて下さい」と、そこで選んだ曲は先程途中で止まらざるを得なかった幻想即興曲だったのでした。それを聴いたお客様からは一層大きな拍手が沸き起こりました。



アンコールとしてこの曲を選択した中園さんにプロピアニストの責任感とプライドを感じました。

アンコール曲を見事に弾き終わり、感動のうちに1回目のコンサートが終了しました。

ホテルのロビーは100人を超すお客様で溢れ、大変な熱気に包まれていました。

## ■コンサート2回目 20:30～

2回目も始まる前からほぼ満席で、その中には1回目から引き続いてのお客様も複数いらっしゃいました。皆様コンサートの始まりを楽しみにしている雰囲気がよく伝わってきました。



コンサートが始まりました。中園さんは白地に赤の模様を胸元から腰にかけてほどこし、ウエストに真っ赤なりボンのついた華やかでチャーミングな明るいドレス姿で登場しました。



今回はアクシデントもなく順調に進み、その分お客様がどんどん演奏される曲の世界に引き込まれていく感じが良く分かりました。